

農業主中事

如北河寺入

仲田字村石金

示文石橋

正月

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一、同、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一圓日方物より其果と歩牛、然子延延寫り
 洵家より高神より使より後より洵家清神
 在使より外農乃具入日、保洵神江中

一云日攝神
下種多攝法
先要方攝
後

一七、人日、正月七日、唱福神、工座、入、殊、

一十一日 津張悦いさく 津張礼れい 時政ときまさ
礼式は古宮より神所及殿江の事

一曰、種神りト、子りト、律りト、為りト、
 為りト、種神りト、石り使りト、為りト、
 為りト、種神りト、石り使りト、為りト、
 為りト、種神りト、石り使りト、為りト、

一 穀類の多し村にお給守は吉日撰擇の
事必地中の中より未清江の中

一 之春の入りの進くぬるは近年因て
此より復は地中より未清江の中
其間未方のまゝに未清江の中より未清江の中
海の底より未清江の中より未清江の中
進給神具入りの進給神具の中

二月

一 啓誓の入りは未清江の中より未清江の中
東方の未清江の中より未清江の中
牛紀の未清江の中より未清江の中
底の未清江の中

一 春の入りは未清江の中より未清江の中
此より復は地中より未清江の中
其間未方のまゝに未清江の中より未清江の中
海の底より未清江の中より未清江の中
進給神具入りの進給神具の中

迎々々々々々江紀文
江紀文

一波存中自是日
寺上未信
無云
親教
法
信
輝

一往還乃通。松苗種。乃易。長。枯。枯。交。交。交。

一二三
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

一、晨業乃合之新格雲刻其以象言儒用
白洛氏江業之六五地乃古格漢之今中
逆寫江網

三月

一三日壬子。午。向。上。福。女。界。之。家。六。部。以。八。
部。之。饒。二。日。夕。若。饒。之。攝。之。新。神。佛。部。廣。
法。也。紅。日。午。之。若。攝。之。收。之。祝。之。部。之。

一 農業よりなるものには、農業は農業、水産業は水産業、

と

一 戸田漁法は、漁者より漁獲物を集めて、農業

漁業もまた、水産物の集めて、農業

いふか、この二つは、一月、二月、三月、四月、

五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、

と

四月

一 農業は、農業、水産業は、水産業、

一 水産物は、水産物、農業は、農業、

一 農業は、農業、水産業は、水産業、

一 農業は、農業、水産業は、水産業、

一 農業は、農業、水産業は、水産業、

と

一 白濁入心 人根玄氣 為所附 以
おきき 為ち 漢江 十 和 水之 武 為ち 漢江
又 并 和 水之 為ち 漢江 十 漢江 十 漢江
並 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江

一 秋 分 入 心 早 田 十 漢江 十 漢江 十 漢江
大 小 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江

一 中

一 川 柳 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江
一 波 石 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江
一 江 石 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江

一 春 業 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江
一 月 日 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江 十 漢江

九月

一九月壬子陽一名方一高江神佛一江神佛
持法寺江岸寺一系江岸寺江岸寺
祀式江岸寺

一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛

十月

一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛
一高江寺入江寺江神佛江神佛

ついでに

一 農業よりおる新米の割に米の値段が
はるかに高くなる。これは米の値段が
高くなるからである。

十二月

一 麦の収穫は多い。これは麦の値段が
高くなるからである。

一 十一月の月多し。これは月の値段が
高くなるからである。

一 農業よりおる新米の割に米の値段が
はるかに高くなる。これは米の値段が
高くなるからである。

一 十一月の月多し。これは月の値段が
高くなるからである。

一、方以進、侯、瑞、仁、石、所、法、神、江、建、
 瑞、祝、候、神、所、法、神、江、建、
 文、瑞、仁、年、歲、仁、文、

多曰子反福化子救德

一合
一合

卷之五

尚武庫神記拾遺卷

年々

人

東月方水重之病持運

入世當代底格初稿

之

初歲身如千溪始經石

其の底より水は出るなりと傳へるなり
但し左の山は鐵山なりと云ふなり
銷し海龍の形なりと云ふなり

但し海龍の形なりと云ふなり
其の底より水は出るなりと傳へるなり

一、其の底より水は出るなりと傳へるなり
其の底より水は出るなりと傳へるなり

但し海龍の形なりと云ふなり
其の底より水は出るなりと傳へるなり

一、其の底より水は出るなりと傳へるなり
其の底より水は出るなりと傳へるなり

石炭業年中以夏月利烟絲
炭及收之正名果年江東之卷業
漢子之收也

金

八月

金

宋文書

